

はみんぐ 子育てファミリーのための 防災 減災 マニュアル!

東日本大震災から3年が経とうとしています。3.11を前に、乳幼児を持つみなさんに災害への備えの大切さを再認識していただくため、このマニュアルを作りました。ぜひこのマニュアルをご覧になり、ご家族で“もし、地震や水害が起きたらどうするか”を話し合ってくださいと幸いです。 2014年3月3日 はみんぐ

◇災害はいつ、どこで起きるかわかりません

【過去の岐南町付近の大災害】

- 1586年(天正14年)6月24日 木曾川大洪水
木曾川の河道が大変化し、木曾川の本流だった川は支流の境川になったそうです。
- 1891年(明治24年)10月28日 濃尾大震災
マグニチュード8 羽島郡における死者221名、家屋全壊983戸
- 1976年(昭和51年)9月11日~12日 東海豪雨
台風17号の影響を受け、2日間で年間降雨量の1/3を記録。岐南町内で床上浸水306戸、床下浸水485戸



上記でもわかるとおり災害が起こるのは時期もバラバラ、間隔も一定ではなくいつ、どこで起きるかわかりません。そのため、普段からの備えや心構えが大切です。

◇避難基準とは?

災害が起きた時、岐南町から段階に応じて次のような情報が発信されます

●避難準備情報

要援助者など避難に時間がかかる方 → 避難場所へ移動を開始
通常の避難行動ができる方 → 家族等への連絡 → 非常持ち出し品用意など避難準備

●避難勧告

通常の避難行動ができる方 → 避難場所への避難行動を開始

●避難指示

避難中の方 → 避難行動をただちに完了
まだ避難していない方 → ただちに避難行動へ移る
避難する時間がない方 → 命を守る最低限の行動を取る



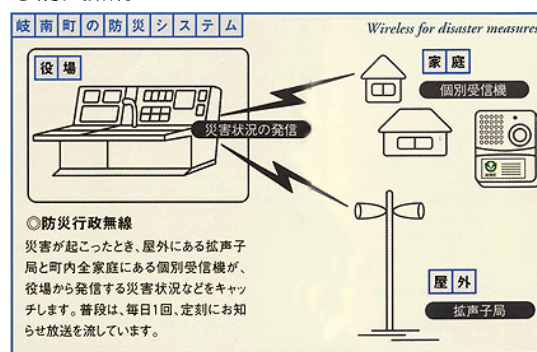
☆乳幼児のいる家庭は、避難に時間がかかるので、早め、早めの行動を取るように心がけましょう!

◇災害時に役立つツール

●緊急速報メール

岐南町は、災害発生時の伝達手段の1つとして、NTTドコモ、ソフトバンク及び au の町内に所在する携帯電話に、緊急情報の配信を開始します。情報を受信するには、「緊急速報メール」対応機種であれば、月額使用料や情報料など無料で受信することが可能です。なお、対応機種であっても、受信設定が「OFF」となっている場合は、あらかじめ「ON」にする必要があります。対応機種及び受信設定方法等、「緊急速報メール」の詳細については、以下の各種携帯電話会社のホームページを参照して下さい。

●防災無線



岐南町では災害が起こったときなどの緊急時に正確な情報を伝達するために、防災行政無線を整備しています。その個別受信機は、各世帯に無償で貸与しています。

※電気使用料および乾電池は自己負担

◎問い合わせ: 役場総務課
058-247-1331



●公衆電話の場所の確認

加入電話や携帯電話が使えない時、公衆電話を使う場合があります。普段から公衆電話の場所を確認しておきましょう。

☆NTT 西日本公衆電話設置場所検索 <http://www.ntt-west.co.jp/ptd/map/>

●災害伝言ダイヤル「171」

災害発生時は、電話がつながりにくくなります。その時は NTT の災害伝言ダイヤルが稼働しますので活用しましょう。事前契約などは一切不要。家族や友人の安否確認や連絡に使えます。使用できる電話は加入電話、公衆電話、ひかり電話です。携帯電話からの利用については各携帯電話会社にお問合せを。

メッセージを残す

「171」をダイヤル → 「1」録音を選ぶ → 自宅の電話番号をダイヤルする → メッセージを録音

メッセージを聞く

「171」をダイヤル → 「2」再生を選ぶ → 相手の電話番号をダイヤルする → メッセージの再生

◇地震が起きたら

【家にいる時】

① 家族と自分の安全を守る

《ダンゴムシのポーズ》

揺れを感じたら、まずは赤ちゃんと自分を守る姿勢をとることが肝心。いつもの抱き方だと腕の中から飛び出してしまう危険性があります。子どもと向かい合わせにして保護者のおなかあたりに子どもの頭をおき、保護者は子どものおしりを抱きかかえるようからだを丸めます。子どもと自分の頭を守る姿勢を意識しましょう。時々遊びとしてやっておくと、いざというときに赤ちゃんが嫌がることもなくなります。



☆日頃から家の中のセーフティスペースを確保しておくこと安心。

② 火の始末をする

③ 脱出口を確保する(ドア、窓を開ける)

④ みんなの安全を確認(隣近所で声を掛け合って)

⑤ 自宅が危険な場合は避難

☆ラジオで正しい情報を入手。

【外を歩いている時】

☆危険な場所を避け、安全な場所に移動して、揺れが収まるのを待つ。
危険な場所:ブロック塀、石垣、石碑、自動販売機、電柱、切れた電線、民家のバルコニー、エアコンの室外機、店舗の看板、車がたくさん止まっている駐車場

【車を運転中の時】

☆急ブレーキを避け、ハザードランプを点け、徐々にスピードを下げる。揺れがおさまるまで外に出ない。
☆停電などで信号機が機能せず、渋滞になりそうな場合は、安全な場所に車を移動し、連絡先をフロントに置いて徒歩で避難。(エンジンキーはつけたまま)



【買い物中】

☆商品陳列棚の落下物に気をつける。大きな窓ガラスから離れる。
☆出入り口に走り出したりしないで、従業員の指示に従う。

お子さんが保育所に行っている方は、普段から園に以下のことを確認しておきましょう。

★災害時の子どもの引き渡し方法 ★園舎が危険な時の避難場所 ★子どもがけがをした時の搬入先の病院

◇日頃から準備しておくこと

① 防災マップ(ハザードマップ)をプリントアウトして、自宅付近の危険度や避難経路の危険箇所を把握しておきましょう。※地震の場合は倒壊のおそれがある箇所をチェック、洪水の場合は、浸水のおそれのある箇所をチェック!
岐南町HP ⇒ 防災 ⇒ 防災情報 ●岐南町ハザードマップ洪水編 ●岐南町ハザードマップ地震編

② 避難場所を知っていますか? 岐南町HPで確認しておきましょう
岐南町HP ⇒ 防災 ⇒ 防災情報 あなたの近くの避難施設

③ 避難経路を決めておきましょう
実際に家族で歩いてみて危険箇所をチェックし、避難経路を決めておきましょう。

④ 家の備えをしておきましょう
大地震では、倒れた家具や倒壊した家の下敷きになってしまう被害がとても多いです。家具の配置の工夫、家具の固定、必要なら家の耐震補強をしておきましょう。

⑤ 近所とのコミュニケーション・友達とのネットワーク
日頃から近所の方とコミュニケーションを取りましょう。また、友達同士、頼り・頼られるネットワークを築いておきましょう。いざという時に助け合えます。



《黄金の72時間》

地震などの災害が発生によって倒壊した建物等の下敷きになった人の救出にあたっては、経過時間72時間を境に生存率が激減するとされることから、72時間以内に救出をめざすという意味で使われます。住民同士助け合って一秒でも早い救出・救助活動が命を救うカギとなります。

◇非常持ち出し品・備蓄品 チェックリスト

- 携帯ラジオ 携帯電話充電器 (電池式、ソーラー式、車で充電できる物)
- 現金 (10 円、100 円、1000 円札) 携帯電話 懐中電灯 笛 筆記用具
- 飲料水 ビニール袋 健康保険証 お薬手帳 常備薬 マスク 生理用品
- 体温計 ラップ アルミホイル 雨具 バスタオル・タオル ライター
- my 電話帳 (万が一携帯電話が使えなくなった場合のために必要な電話番号は控えておきましょう)

◇乳幼児のための非常持ち出し品・備蓄品 チェックリスト

- 子どもの食料・飲み物 (ミルク、離乳食など) 紙おむつ おしりふき おもちゃ
- おんぶひも ※さらしがあると便利(おんぶひも、おむつ、包帯としても使える)
- 除菌シート 母子手帳 ガーゼ、タオルのハンカチ ブランケット

☆食の備えは3日分をめやすに
非常持ち出し袋に入れる持ち出し用と家に備蓄する物の2通りに分けて用意しましょう。(ライフラインが回復するまでの間に必要な分)



◇我が家の防災リスト

1. 家族との連絡方法
家族と離れているときに災害に遭った場合を考えて連絡方法を決めておきましょう。

方法	番号
自宅	
携帯電話()	
携帯電話()	
携帯電話()	
実家	
災害用伝言ダイヤル	171

2. 待ち合わせ場所・避難場所の確認

	場所	ルート	注意点
待ち合わせ			
避難所			
お子さんの保育所			
会社での避難場所			